＜先週の説教から＞

『詩編 １８Ⓑ―主は命の神』

詩 編　１８：２９～５１

マタイによる福音書　１１：２８～３０

詩編１８編は５１節まで続く長い詩編ですから、前回と今回の２回に分けて読みます。そのため、説教題の番号は１８Ⓑとさせていただきました（１９回目ですが、詩編１９としてしまうと１９編の説教かと間違われますので）。

戦前、連続して聖書講解をされた有名な先生は、この詩編を評して『ダビデの若いころに吟じた詩のようだ。勇ましく確信に満ち、不幸の影がない』と書かれておられます。確かに一見、そう読める詩編です。ただこの詩編はほとんど同じ言葉でサムエル記下２２章にも記されています。そこでは「ダビデの感謝の歌」とあり、まもなく最期を迎えるダビデが自らの人生を振り返り、神様への感謝を歌ったものとされています。従って、むしろダビデ晩年の作となります。にもかかわらず、若さを感じさせる言葉にむしろ感動を覚えます。

例えば「神はわたしに力を帯びさせ、わたしの足を鹿のように速くし、高い所に立たせ、腕に青銅の弓を引く力を帯びさせる」(33～34節)も、私も高齢になり走ることが遅くなり、高い所が怖くなり、手の力が萎えてきますが、ダビデも同じ衰えを感じながらも、神様がなおも力を与えてくださると、神様からの励ましと力添えのありがたさを感謝しています。

どうしてこのような信仰をダビデは手にすることが出来たのでしょうか？　それは36節にあります。即ち「あなたは、自ら降り、わたしを強い者としてくださる」です。この言葉の意味は、神様が自分の側に降りてきてくださって、じかに励まし、力を注いでくださるので、私は強く生きていけるという意味で、実はこれは当時としては画期的な信仰内容であったのです。と言いますのは、当時、主なる神様は天の高き所に居られて我々人間を見ていてくださるという信仰が中心で、この地上に降りてこられるとしてもそれは聖所や神殿の中に限られると思われていました。しかし、ここでダビデはこんな自分の側にまで「自ら降って」力を与えてくださると感謝しているのです。神様をとても近くに感じているのです。この「自ら降り」の原語は（アナワー）で（降りて来ること）を表します。ただ、だからと言って「自らヘリ下り」とか「謙遜して」と訳すのはこの言葉の重要さを消してしまいます。この点、旧約聖書学者の関根正雄氏は『旧約聖書の中で、神の地上への降下が直接記されている箇所はここだけである』とまで言われているほどなのです。どうでしょうか？

新約聖書の信仰に生きている私たちにとっては、この神様の（アナワー）こそ、イエス様がこの地上に降りて来てくださったことそのものではないでしょか？　私たちを救い出し励まし、支えていくため、自らこの世界に降ってくださった神様なる存在がイエス様ではないでしょうか？　こんな愚かで罪深い私たちの側にまで降ってくださった出来事がクリスマスではないでしょうか。あの馬小屋の飼い葉桶(おけ)に寝かされたお姿は、人間的に最も低い所にまで降りて来てくださったことを示しています。そして十字架に架かり、私たちにまことの命(＝永遠の命)を与えてくださいました。それがまさに「主は命の神（＝ハイ ヤハウェー)、わたしの岩、わたしの救いの神」(47節)であるということでしょう。歴代のクリスチャンたちはそのように受け取って来たのです。

この詩編の最後には「油注がれた人(＝メシヤ、ギリシア語ではキリスト)」という言葉も出てきます。即ち「主は勝利を与えて王を大いなる者とし、油注がれた人を、ダビデとその子孫を、とこしえまで慈しみのうちにおかれる。」(51 節)です。これこそ、イエス様が“ダビデの子”として生きられ、十字架によって罪を滅ぼされ、復活されて死に打ち勝ち、天に昇られ、天の玉座に着かれたことを預言している言葉として受け止めることができるのではないでしょうか！

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

◉聖書研究・祈祷会 Ⅰ.

Ⅱ.

休　　会

【教勢報告】

主日礼拝	無会衆
祈祷会 Ⅰ.	休　会
祈祷会 Ⅱ.	休　会
日曜学校	休　校

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【次週礼拝】　　9月　１２日（日）

聖　書：　エゼキエル書 ４７：１～１２

ヨハネの黙示録　２２：１～５

説　教：「黙示録６６ ― 命の水の川」

武田 真治 牧師

讃美歌：　５６、３２、１９７、４５７、２８

【次週当番表】

司式：金刺長老 奏楽:羽倉長老 礼拝:齋藤長老

献金：長老　　受付：長老

会堂準備：飯島　岡本　金刺　中村

新元

【次週集会予定】

・幼稚園理事会

６２－３６

週　報

2021 年度　教会標語

「信仰に支えられて、共に生きよう！」

２０２１年　９月　５日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**

牧　師　　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33

TEL＆FAX　048－771－6549

http://www.ageo-church.org/